

長

(生類)
物勤應急對策

17年後

水

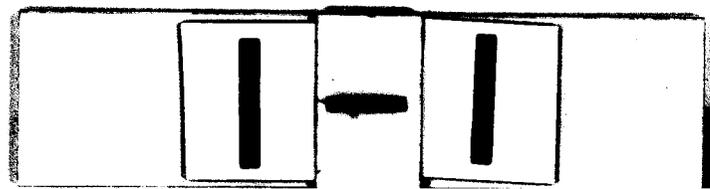
昭和十七年九月十八日

極秘

高橋君 A B 在等。彼の年
統制令案。要領手取。一節
他。A 案。ハ。ヤ。ハ。ト。シ。テ
自。程。是。度。子。以。記。セ。又。之。約。年。程
記。林。四。力。ハ。元。下。七。七。年。

編 製 産 對 策

商 工 省 産 業 局



鐵鋼減產對策

目次

關係官廳又ハ團體

頁數

第一 本年度生産狀況

1

第二 減產對策

2

一、原材料對策

(一) 鐵鋼石

2

(A) 所要量

陸、海軍、商工省

2

(B) 取得先別内詳

(C) 鐵石プール價格ノ設定

商工省、鐵鋼統制會

4

(二) 稀稀鐵石

4

(A) 所要量

陸、海軍、商工省

4

(B) 取得先別内詳

(三) 石炭

5

(A) 所要量

同右

5

(B) 品質

(C) 北支原料炭プール措置

商工省、鐵鋼統制會

5

(四) 屑鐵

6

(A) 方針

陸、海軍、商工省

6

(B) 所要量

(C) 銜柄別内詳

陸、海軍、商工省

6

(D) 銜柄配合割合

(E) 品質

(F) 銜鐵及屑鐵價格調整

商工、大藏省、鐵鋼統制會

7

(G) 副原料

(H) 重油

陸、海軍

7

(I) 本船要輸送量

陸、海軍、海務院

8

二、規格對策

9

(一) 戰時規格設定

商工省

9

(二) 寸法ノ單純化

同右

9

三、資材對策

9

四、電力對策

逓信省

10

五、勞務對策

10

一 充足対策

(1) 農村ヨリ五〇〇人供出案

厚生省

10

(2) 特別充足(1) 後法令ノ實施

陸、海軍、厚生省、商工省

10

(3) 技術者及熟練工ノ應召解除

陸、海軍

10

二 移動防止及出勤率ノ向上対策

(1) 強請及ニ伴業必需品問題

農林、商工省

11

(2) 賃金対策

1 平均時間別賃金ノ改正

厚生省

11

2 初級賃金ノ改正

同 右

11

3 自由工賃金ノ規正

同 右

11

4 賃銀統制令特別運用方針ノ活用

賃銀統制會

11

(3) 労務管理ノ徹底

厚生省、商工省

12

三 大企業内務之対策

1 労働時間

鐵道省

13

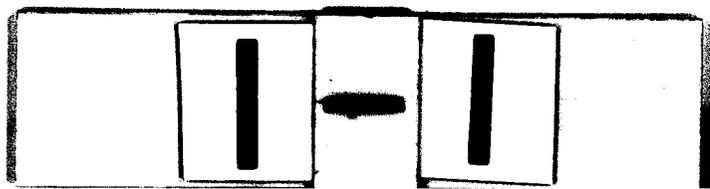
2 賃金

大蔵省、商工省、賃銀統制會

13

九 結語

14



第一 本年度生産狀況

昭和十七年度第一、四半期ノ生産実績ハ物動計畫ニ比シ鉄鐵六三六
四八應、鋼材一三三八八應ノ減少ヲ示セリ

本年度ニ於ケル物動計畫實施狀況ハ既ニ四月ニ於テ鋼材七〇九七
八應ノ減産ヲ示シ生産ニ對スル各般ノ條件ノ充足困難ヲ思ハシメ
タルガ四月ノ減産ノ最大原因ハ配給ニアリ此ニ對シテハ至急施策
ヲ講ジタル爲五月、六月ニ於テ稍回復ヲ示シ一時小康ヲ得タルヤ
ニ思ハレタリ

然レドモ當時ニ於テハ基礎的諸條件ノ根本的解決ヲ見ルニ至ラザ
リシタメ第二、四半期ニ於テハ實ニ慘憺タル減産ヲ示シ続續一二〇
二七二應、鋼材二三八三五一應ノ低落ヲ來ス見込トナレリ

下期ニテハ現狀ニテ推移センカ物動計畫ノ要生産量更ニ加重サレ
居ル爲最善ノ努力ヲ致スモ別表(一)ノ如ク鋼材三五〇八六三應ノ減
トナリ上半期ヲ通算スレバ實ニ七二三〇八二應ノ減少ハ免レザル
見込ナリ

斯クテハ生産擴充諸計畫ハ素ヨリ作戰上ニモ由々シキ事態ヲ惹起
スル虞アリ

仍テ軍、官、民一体トナリテ次メ諸對策ヲ緊急實施シ以テ下半期
物動要生産量ノ確保ヲ期スルノ要喫緊ナリトス

第二 減産対策

一、原材料対策

(一) 鐵鑛石

(A) 鐵鑛石ニ付テハ低品位鑛石ヲ削減シ優良鑛石ノ使用増加ヲ計ルコト(之ガ爲所要量ハ約八七千應減少ス)然レドモ之ガ爲ニハ要海上輸送量ハ物動計畫ニ比シ一〇二千應増加ヲ要ス右ニ應ズル鐵鑛石取得先別配遊表(B)項ノ如クナルモ本案ニ依リ

(イ) 業務貯鑛増一〇万應

八幡ヲ除ク他工場ノ要海上輸送鑛石八月末在庫約二〇万應ヲ三〇万應即チ約一ヶ月分ニ増加シ得

(ロ) 義務貯鑛使用減

物動使用豫定六九千應ヲ使用セザルコト、シ得

ヲ實施シ得ルコト、ナル

鐵鑛石下期所要量

(單位 千應)

	下期物動豫定	本案	増減
製 銑 用	四八七〇	四八一四	減五六
製 鑛 用	五三一	五〇〇	ノ三一
計	五四〇一	五三一四	ノ八七

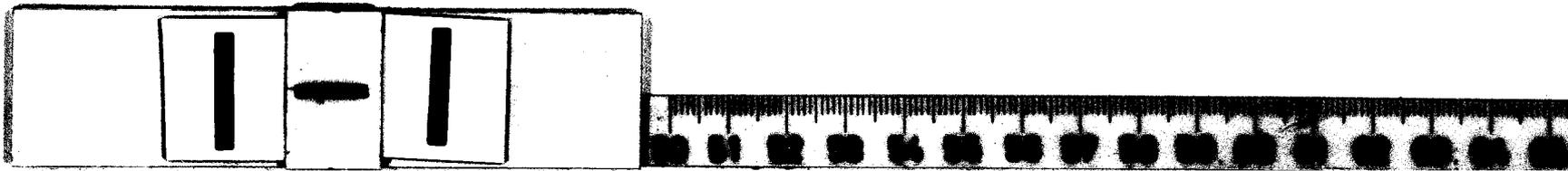
備考 盟外銑及原鐵原料鑛石ヲ含マズ
(B) 右ニ應ズル鐵鑛石ノ取得先別左記ノ如シ

釜石	其ノ他内地鑛石	朝鮮(鮮内)	(内地)	大冶	南山	大凹	鐘山其他	龍烟	東邊	利國	許屯	開原	金嶺	カランバヤング	マリソツケ	佛印	海南島	タマンガン	ツング	燒結鑛	計
一九〇	七四	二九〇	二〇〇	六二〇	四〇〇	三八〇	三二〇	二五〇						三〇〇		八〇〇	六九〇	三〇〇	九〇〇	一、二〇〇	四八一四
				六〇〇						四〇〇							二〇〇	二〇〇	二〇〇		五〇〇
一九〇	七四	二九〇	二〇〇	六八〇	四〇〇	三八〇	三二〇	二五〇		四〇〇				三〇〇		八八〇	六九〇	三〇〇	九〇〇	一、二〇〇	五三三四

(單位千噸)

備考 添付

- 別表(一) 下期高爐用鑛石需給表
- 別表(二) 下期平爐用鑛石工場別配給計畫
- 別表(三) 下期鐵鑛石配船計畫表



(1) 鑛石ブール價格ノ設定

現行ノ鐵鑛石價格ハ採掘費ヲ基準トシテ設定セラレ居ルヲ以テ其ノ使用效率ト價格ハ一致セス之ヲ以テO.B.ブールスル事ニ依リ使用效率ニ應ジタル鐵鑛石價格ヲ設定セントスルモノナリ。

之ニ依リ各作業所ハ如何ナル鑛石ノ配給ヲ受クルモ損得ナキヲ以テ割高ナル内地貧鑛石ヲ使用セシムル事可能トナリ惹テハ内地、朝鮮鑛石等ノ生産ノ増強ニ資セントスルモノナリ
ブールヲ行フ爲ニハ一元買取及販賣ヲ行フ事ハ勿論ニシテ實施スベキ原料ハ差當リ次ノ如シ

内地、朝鮮、外國鑛石、硫酸滓、高爐用屑鐵
尙本件實施ニ依リ鐵鑛石ノ配給統制ハ一段ト強化サルル事トナルハ必然ナリ

(2) 滿鐵鑛石

(A) 滿鐵鑛石ハ左記數量ノ確保ヲ要ス

製 銑 用 六四〇〇〇 噸
製 鑛 用 五五〇〇〇 噸
合金鑛 用 九五〇〇〇 噸
計 一二四〇〇〇 噸

(B) 之ガ取得先別數量左記ノ如シ

銘柄別内譯

(單位 噸)

產地	取得量
内地	一二〇〇〇
中支	一二五〇〇
佛印	一五〇〇〇
比島	二九〇〇〇
馬來	五〇〇〇〇
其他ノ南方	六〇〇〇〇
小計	一七三〇〇〇
貯鑛使用	四一〇〇〇
合計	二一四〇〇〇

備考 添附別表(四) 下半年滿鐵鑛配給計畫表

石炭

(A) 下期生産ヲ豫定通り遂行スル爲ニハ左記石炭所要量ノ確保ヲ要ス、尙コトクノ品質改善ノ爲強粘結炭ノ配合増加ノ要アリ(積地振替ニヨル製鐵向石炭船腹ノ増加ハ二〇〇千噸ナリ)下期石炭所要量

	本案	物動實施豫定
高爐炭	四九二八千噸	四九九五千噸
發生爐炭	一、二〇九	一、〇九九
一般加熱用炭	一、一九四	一、一三二
計	七三三一	七二二六

(備考) 本所要量ヲ確保スル爲ニハ下期全石炭船腹物動豫定一三、六〇〇千噸確保ノ要アリ

(B) 高爐用炭ノ強粘結炭ト弱粘結炭ノ配合割合ハ左ノ通トス

強粘結炭五五% (所要量二七二八千噸)
 弱粘結炭四五% (所要量三二〇〇千噸)
 (現在ニ於ケル強粘結炭ノ配合割合ハ平均五一%程度ナリ)

尙發生爐用炭ニ粉炭ノ混入セザル様山元ニ對シ嚴重指令スルヲ要ス

備考 添附別表(六)下期石炭月別所要量調

(七)下期石炭輸送量調

(C) 北支原料炭プール措置

現行ノ北支原料炭價格ハ物價停止令施行當時ノモノニ釘付ケセラレ居ルヲ以テ、之ヲF.O.B價格ニテプールスルコトニ依リ炭價ト使用效率ヲ一致セシメントスルモノナリ之ニ依リ各作業所ハ開瀾炭、中興炭、井陘炭、黑山炭ノ何レノ配給ヲ受クルモ損得ナキヲ以テ配給ニ際シ最短距離輸送ヲ實施シ輸送力ヲ極力節約スルコトヲ得ベシ

④ 屑 鐵

(A) 現在ノ如キ不良ナル屑鐵ヲ以テ製鋼作業ヲ強行スルトキハ製鋼能率ノ改善ヲ期シ得ラレザルヲ以テ良質ナル南方屑ノ計畫以上ノ輸入(最低一〇〇千應増)ヲ必要トシ併セテ銑屑配合率ノ緩和方ニ付テモ特ニ考慮スル要アリ

(B) 所要量

第三期	六七七九〇〇應(物動計畫)	六三八五〇〇應
第四期	七一七九〇〇〇	六九〇五〇〇〇
計	一、三九五八〇〇〇	一、三二九〇〇〇〇

(單位 千應)

(C) 銘柄別内譯

	第三期	第四期	計	物動計畫
内地一般屑	八〇〇	八〇〇	一六〇〇	一六〇二
特別回收屑	八〇〇	八〇〇	一六〇〇	二五三〇
拂下屑	一、一〇〇	一、一〇〇	二、二〇〇	二、四〇〇
支那屑	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
滿洲屑	五〇	五〇	一〇〇	一〇〇
泰、印屑	九	九	一八	一八
南方屑	八〇〇	一、一三七〇	二、一七〇	一、一七〇
良屑	三七五〇	三九三〇	七六八〇	七四九〇
在庫利用	三五〇	一	三五〇	〇
計	六、七七九	七、一七九	一、三九五八	一、三二九〇

別紙(八)輸入屑鐵揚地別配給豫定表

⑤ 銑屑配合割合

銑屑 三八% (参考第一期三六五%、第二期三四%)
 鐵屑 六二%

地方官等優良用ノ取得ヲ必要トス、備之ヲ配給ニ付八階具
外ヘニ供給シ得ル様處置スルコト

ニ鉄屑ハ之ヲ選別シ適性ナル使用措置ヲ講ズルコト

ニ特別回收屑ニ付嵩高ノモノハ切斷又ハ破碎ノ上供給セシム
ル措置ヲ採ルコト

ニダライ屑等ニ付テハ壓縮シテ供給セシムルカ(此ノ場合ハ
金屬回收會社ニ整理場ヲ設備セシムル要アリ)或ハ大量ヲ
處理シ得ル設備(プレス)ヲ製鋼業者ニ備ヘシムルコト

④鉄鐵及ビ屑鐵價格調整

現狀ニ於テ新鉄ニ比シ鉄屑ハ割高ナル事内地屑ハ輸入屑ニ比
シ割高ナル事、價格不調和ニ依ル交錯輸送ヲ爲シ居ル等ノ諸
缺點ヲ是正シ製鋼業者ノ利害ヲ統一シ輸送量ヲ最少限ニ止メ
ントス

(標準物)

現行價格

鉄	八・一圓
鉄屑	一・一五圓
内地屑	一・〇〇圓
輸入屑	八・八五圓

イ、内地屑ト輸入屑ニ付キズ一ノ標準價格ヲ設定スルコト

ロ、鉄屑ノ平値ニ使用スル場合ニ於テ鉄屑一・一五圓ヲ七六圓

ニ改定スルニ爲シ額額三九圓ニ付政府ニ於テ補償スル様目下

大藏省ト接衝中ナリ之ガ豫算一四・〇〇〇千圓ヲ要ス

⑤鋼原料

爐材品質低下ノ主ナル原因ハ燒成用石灰ノ品質低下及入荷量

ノ不足ニ依ル不充ナル燒成ト優良原料土石ノ不足ニ因ルヲ

以テニセ〇ノ製造業者ヲ四〇乃至五〇ニ整理統合シ重諾並進

ニ依リ優良炭ヲ充分ニ配給シ滿洲復州粘土等ノ配給ヲ確保シ

一方石灰石、苦灰石等ニ關シテハ内地資源ノ開發及船舶トヲ

ツクニ依ル輸送ノ圓滑化ヲ要ス

製品ノ配給ニ付テハ製鐵業ノ特殊性ニ適合セル統制ヲ實施ス
ルト共ニ之ガ原材料確保ニ關シ鐵鋼統制會ニ於テ援助セシム

(A) 重油ノ使用ハ平爐並ニ加熱爐ノ能率向上ニ最高果的ニシテ月
 一〇〇〇〇〇ノ確保ヲ要ス

用途	平爐		併用設備		計
	加熱爐	其他用	專用設備	併用設備	
計	八四六〇〇	一、六六〇〇	一、五四〇〇	一、五四〇〇	一〇、〇〇〇

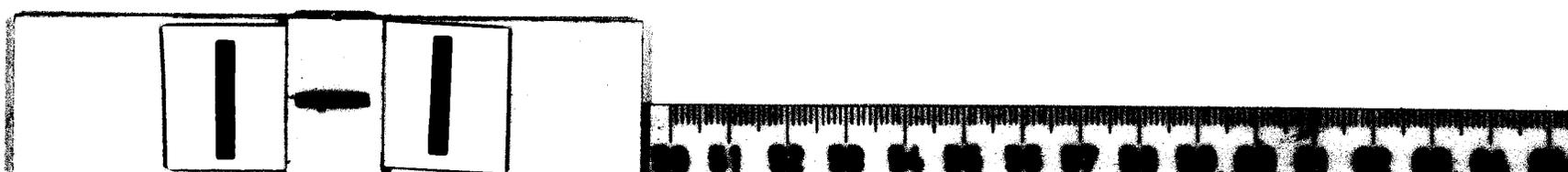
附記
 現在ニ於ケル配給狀況左ノ如シ(單位 坪)

2 現狀ニ於テハ重油専用設備ヲモ充分ニ稼動シ得ラレズ、
 シ今後一萬坪ノ重油専用設備ニ至ラバ併用設備ニモ若干
 給シ平爐ノ煙道燒修ノ爲メ休業ヲ止メ三月同一定品得
 ルコトナリ大イニ生産増強ニ役立ツノミナラズ特定品種
 (厚板、鋼管、線材)ニ付緊急増産ヲナス爲ニ冷塊ヲ使
 用スル量増スルコト及特殊増産ノ爲ニ加熱能力極度ニ
 不足セル實狀ニ對シ重油ニ依リ高能率ヲ擧グル必要アリ
 別表(4)各社別配當計畫
 本船要輸送量
 以上ノ諸對策中船腹ニ關スルモノヲ綜合シ船腹所要量(輸送應
 數)ヲ表示スレバ左ノ如シ

計	第三期			第四期			計
	鐵石	副炭	原鋼	鐵石	副炭	原鋼	
計	二〇四六	二〇〇〇	四三三	一九一四	一九四八	三九四八	三九六〇
計	一、三五四九	一、三三三	一、四三六九	一、四三六九	一、四三六九	二、七九一八	二、四三六八

計	第三期			第四期			計
	鐵石	副炭	原鋼	鐵石	副炭	原鋼	
計	一九三六五	一、八九七〇	四三三二五	一九二二四	一、八五〇七	三二四〇五	三八五八九
計	一、一八四九	一、一八四九	一、三〇一、九	一、三〇一、九	一、三〇一、九	二、四八六八	二、四八六八
計	五、四五〇、六五	五、四五〇、六五	五、三九九〇、五	五、三九九〇、五	五、三九九〇、五	一〇、八四、五七	一〇、八四、五七

別表(4)距離X應數增加表



二 規格対策

現有生産力ヲ以テ複雑ナル各種規格ノ需要ニ應ズルニハ限度アリ、戦時規格ノ設定及寸法ノ單純化ハ技術院、鐵鋼統制會ニ於テ研究中ニシテ左ノ通り順次實行ノ過程ニアルモ需要筋ニ於テモ協力ヲ望ム

(一) 戦時規格ノ設定

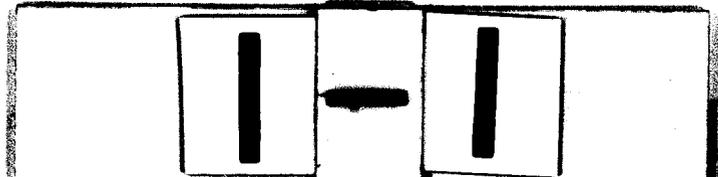
造船用鋼材	實施
瓦斯管	實施
罐用鋼管及一般用繼目無鋼管	計畫中
罐用鋼板	計畫中
炭素鋼軌條	計畫中
ポイルトナツト用丸鋼及六角鋼	計畫中
(二) 寸法ノ單純化	
造船用鋼板	實施
鐵道車輛用鋼材	實施
瓦斯管	實施
罐用鋼管及一般用繼目無鋼管	計畫中
罐用鋼板	計畫中
丸鋼	實施
丸鋼以外ノ棒鋼及型钢	計畫中

三 資材対策

鋼材ヲ初メ各種必要ナル資材ハ二、三年來入手難ヲ續ケ既ニ取換時期ニ到達シタル設備モ新品ノ入荷乏シク補修維持用資材ノ入手又圓滑ヲ缺キ之ヲ累積ノ結果ハ最近頓ニ故障ノ頻出ヲ見ツツアリ不足資材中差違々本年度物動外ニ緊急確保ノ要アルモノ左ノ如シ

1 普通鋼	一〇七三〇
2 銅	一三五〇
3 鉛	二四〇
4 亜鉛	一六〇〇
5 錫	一三〇〇
6 アンチモン	四〇〇
7 アルミニウム	二〇〇
8 石棉	一〇〇
9 生ゴム	三〇〇
10 マニラ麻	六〇〇
11 鹽酸(化文字用)	九四〇

用途別明細ハ別表(出)ノ通ナリ



又ハ之類ニ指定セラレ居ルモ限定品種ノ生産ヲ爲ス重要工場等ハ
第一種又ハ之ニ準ズル扱ヲ爲シ電力使用制限ヲ受ケザル様措置シ
下半期物動豫定生産量ノ達成ニ必要ナル電力確保ニ對シ緊急施策
ノ要アリ

五 勞務対策

(一) 充足対策

勞務者在籍數ハ本年七月末一三四五七人ニシテ昨年同期ニ比
シ些シタル減少ヲ爲シ居ラザルモ下半年期生産目標達成ノ爲ノ所
要員數一六五〇八九人ニ比シ平均八〇%程度ニシテ不足數ハ三
〇五四二人ニ達スル實情ナリ(別表(四)參照)之ガ對策トシテ
次ノ諸施策ヲ實施スルノ要アリ

(A) 日給、八幡、廣畑、日本鋼管等特別措置ヲ講ジタルモノ及女
工員ヲ除ケバ緊急確保ノ要アル勞務者ハ九四〇〇人程度此ノ
中五〇〇〇人ハ製鋼、壓延等重筋作業ノ勞務者ニシテ體力最
モ強壯ナル青壯年ヲ要スルニ付テハ之ガ給源ハ農村ニ求ムル
ノ外ナキヲ以テ農業生産統制令ニ依ル制限ヲ一應緩和シ之ガ
進出ニ付適宜ナル措置ヲ講ズ
(B) 右措置ニ依リ尙充足シ得ザルモノアル場合ハ日本鋼管ト同ジ
ク特別充足ノ手段ヲ講ズ

(C) 徵用令ノ實施

緊急要材ノ生産工場ニシテ條件ノ具備セルモノニ付テハ急遽
ニ徵用令ヲ施行シ置キ情勢ノ推移ニ應ジ直ニ徵用ヲナシ得ル
ガ如キ要務ニ置クモノトス

(D) 技術者及熟練工ノ應召解除並ニ召集措置

充足ニ最モ困難ナルハ技術者及熟練工ノ補充ナリ殊ニ製鋼作
業及重要品種ノ壓延ヲ爲ス工場ニ付テハ最モ熟練セル技術ヲ
以要トスルニ付先ヅ第一ニ之等熟練指導者ノ應召解除コソ喫
緊ノ要務アリ
尙此種技術者及熟練工ハ今後召集猶豫ノ措置ヲ強化スルモノ
トス

(三) 暴動防止及出勤率ノ向上對策

(A) 生活並ニ作業必需品問題

- 1 臨時應急米ノ配給ナキ府縣(埼玉、和歌山)ニ付實施方策現ヲ期スルコト
- 2 製鐵業ハ他ノ業種ニ比シ重筋、高熱、危險作業ニシテ殊ニ平爐關係ノ如キハ増配ノ要アリ
- 3 昨年四月一日以前ニ於テ工場給食ノ實績ヲ有セザル工場ニ對シテモ家庭米及臨時應急米ノ外工場給食ヲ支給スル道ヲ拓キ同一府縣内ニ於テ過去ニ於ケル實績ノ有無ニ依ル不均衡ヲ是正スルヲ要ス
- 4 其ノ他生活必需品對策
作業衣、軍手、ボロ、手袋、ゴム靴等ノ作業用織維製品ノ不足ノ現在減産ニ影響シ居ルコト多大ナリ之ガ特配ヲ期ス
- 5 配給機構
生活必需品資配給ルニ關シテハ一般市民生活ニ直接關係ナキモノニ限り各地方廳ヲシテ直接工場ノ購買機關ヨリ勞務者並ニ其ノ家族ノ所要物資ヲ配給スル如ク考慮ス

(B) 賃金對策

- 1 平均時間制賃金ノ改正
現行總額制限ノ基礎タル平均時間制賃金ハ金屬精鍊等トシテ輕金屬ト同一範疇ニアリ且航空機、精密機械、金屬機械器具工業等ト殆下同額ナルガ鐵鋼業ノ如キ高熱、重筋、危險勞動ヲ斯ク扱フコトハ勞働力獲得並ニ保持上ニ支障多カラザルヲ以テ石炭、鑛山ノ如キ重筋勞動ト同額トスル要アリ
- 2 初給賃金ノ改正
現行初給賃金ハ物價騰貴ノ現狀ニ照シ低キニ失スルニ付之ガ改正ヲ期ス
- 3 自由工賃金ノ規正強化實現ヲ爲シ、併セテ自由工ノ常備化促進ノコト
現在自由工ノ賃金最高一日貳拾圓以上ニ達スル例モアル實狀ニテハ統制工員ノ缺勤シテ之ニ趨ルヲ阻止シ得ズ然モ自由工ノ不安定性ハ作業能率ヲ阻害ス
- 4 業者ニ於ケル賃金統制令ニ對スル理解ヲ深メシムルコト
例ハ昭和一六七二三發勞第四七號、同七二六發勞第五二號、同九一一發勞第六四號勞働局長通牒等ニヨル特別運用方針ノ活用ヲナサシメ其ノ活用狀況ヲ調査シ其ノ難點ニ付テハ政府ニ於テ適當ナル措置ヲ講ズルコト

① 勞務管理ノ徹底

- 鐵鋼生産量ノ増加ハ大東亞經濟建設方策ニ依レバ十五ヶ年間ニ現在生産量ノ六倍ヲ要請セラルル點ヨリ考フレバ今後出來得ル限り勞務ヲ節約シ機械化ヲ圖ラザルベカラザルコトハ有無ヲ俟タザル處ナルモ現在ニ於ケル勞務不足對策トシテハ現有員ノ質ノ改善向上ト士氣ノ振興トニヨル能率ノ上昇トヲ促シ以テ機械化ニ至ル過程ニ於ケル勞務不足ヲ補フニ努ムルコト極メテ緊要ナリ、之ガ爲次ノ措置ヲ講ス
- 1 勞務員ノ指導ニ關シテハ各業者ヲシテ重役第一線主裁ヲ更ニ徹底セシムルコト
 - 2 工員ノ住宅ハ可及的各職場別ニ一集團ヲ爲スガ如ク措置シ逐次職場ト私生活トノ密接ナル結合ヲ圖ルコト
 - 3 前述ノ措置ト平行シテ當省ニ於ケル生産能率増進方策案ノ中特ニ(三)345ヲ可及的速カニ實現スル必要アリ
 - 4 工務官等ヲ以テ構成員トスル勤勞能率委員會ヲ設ケ勤勞能率ノ共同研究、共同對策(移動ニ關スル共同防止措置ニ關スル問題其ノ他共通事項ニ關スル對策)樹立等ニ努ムシムルト共ニ該委員會ヲシテ隨時各工場ニ於ケル勤勞能率審査數ニ能率比較ヲ爲シ其ノ結果優秀ナリシモノニ對シ該委員會ヲシテ各工場職場又ハ個人ヲ表彰セシムルガ如キ制度ヲ確立ス、差當ツテ本制度ハ別項第八ニ掲グル製鐵増產強調期間ヨリ之ヲ實施ス
- 右ハ當省策勤勞能率増進一般方策(三)ノ6ノ産業表彰制度ノ實施トモ關聯シ本項委員會ノ構成中ニハ統制會ノ當該事項責任者ヲモ參加セシムルヲ適當トス
- 5 工員ノ職場配置ニ關スル問題トシテハ比較的餘裕アル工場ヨリ決定的ニ勞務者殊ニ技術工並ニ熟練工不足セル工場ニ對スル配置變更處置ヲモ實施ス
 - 6 徵用工員ニ對シテハ現在缺勤怠業等ニ對シテ徹底的ナル懲戒制度確立サレ居ラズ徵用制度ノ運用ニ困難ヲ感シ居ル實情ナルヲ以テ至急之ガ解決ヲ圖ルコト

六 構内輸送対策

構内備上トラツク確保ニ關シテハ鐵道省ト更ニ交渉ノ要アルモ製鐵工場ニテハ重量物多ク且晝夜作業ノ爲車ノ損耗甚ダシク到底信上ノミニ期待シ得ス不足ハ主トシテ自家用車ノ新造ニ依リ補充ノ外ナシ之ガ申請ハ二三四台ニ及ビ其ノ中一一六台ハ既ニ鐵道省ニ交渉中一鐵道省査定三四台ナリ

尙自家用車ニ付テハ標準型ヲ設ケ五方開キノ型ニ統一ス
七 價格対策

適正ナル企業利潤ヲ認メ特ニ國家生産ノ増強ニ寄與シタルモノニ對シテハ其ノ利潤ノ増加ヲ認ムルハ經濟新體制確立要綱第二ノ五ノロニ定ムルトコロナリ鐵鋼ノ販賣價格ハ該事業ノ國家的必要性ニ鑑ミ且ツ現狀ニ即シ再檢討ノ要アリ、最近ノ生産諸條件ハ惡化ノ一途ヲ辿リ生産割當ノ遂行ヲ不圓滑ナラシムル嫌アリ
現行價格ニ依ル採算ニ檢討ヲ加ヘ適正價格制ヲ實施ノ要アリ
之ガ事態緩和ノ爲右ノ根本對策策定迄不取敢次ノ四方策ヲ實施ノ事トス

(一) 限定品種緊急増産ニ伴フ補償實施

近時鋼材中特ニ厚板、鋼管、鋼材等ノ限定品種ニ對スル需要極メテ熾烈トナリ殊ニ陸海軍並ニ生産確充方面ノ要請集中シ現有設備ヲ極端迄稼働シ技術的困難並ニ採算割レモ全ク無視シ業者ニ對シ生産命令ヲ發シタル爲之ニ因ル業者ノ損失ハ政府ニ於テ之ヲ補償スル要アリ之ガ所要經費ハ現在ノ處九二八五圓ノ見込ナリ本年度豫算追加ヲ要ス

内譯別表(四)參照

- (一) 鑽石ブール價格制 前 述
- (二) 北支原料炭ブール措置 前 述
- (四) 銑鐵及屑鐵價格調整 前 述

八 督勵班ノ實施
以上諸對策ヲ講ズルト共ニ左記要領ニ依リ各工場ノ督勵ヲ實施ス
ルモノトス

要 領

(一) 趣 旨

鐵鋼増産強調期間ヲ設ク
尙實施ニ付テ減産ノ調査、工場従業員ノ督勵ヲ行ヒ併セテ工場
ヨリ政府ニ對スル要望ヲ聽取スルト共ニ急速ニ適切ナル措置ヲ
講ズルモノトス

(二) 督勵班ノ構成

企畫院、商工省、陸海軍、厚生省、拓務省、朝鮮總督府、(以)日
統制會、産業報國會

(三) 全國ヲ左ノ五班ニ分ツ

- 第一班 關東地區
 - 第二班 東北、北海道地區
 - 第三班 大阪地區
 - 第四班 神戸以西地區
 - 第五班 九州地區
- 朝鮮地區ニ付テハ總督府ニテ別途策定ス

(四) 時 期

第一、四半期ヲ増産強調期間トシソノ最初ニ於テ之ヲ行フモノト
ス

九 以上諸對策ヲ實施スルト同時ニ右效果ヲ持續確保セシムル爲、商
工省工務官及鐵鋼統制會ヲシテ現場ノ把握ヲ確實ナラシメ以テ工
場長ヲ督勵シ其ノ陣頭指揮ニ強大ナル實行力ヲ持タシメ生産額係
數ニ勞務管理ヲ徹底セシメントスルモノナルモ現狀ニ於テハ更ニ
進ンテ重要製鐵工場ハ暴ゲテ之ヲ商工省ノ管理工場ト爲スノ時機
ニアルモノト認ム

